

第1回世界に誇れる環境先進都市かめおか協議会（10：00～11：08）
議事要旨

◇開 会

◇会長あいさつ

- ・本協議会では、昨年（令和3年）1月から施行した「亀岡市プラスチック製レジ袋提供禁止に関する条例」に関して多くの時間をかけて協議いただき、実施できたことに感謝申し上げます。
- ・その成果として、保津川における清掃活動で集められるプラスチック製レジ袋のゴミは極端に減少しており、数値として表れている。
- ・今後プラスチックごみをどのように削減していくか、亀岡のまちづくりの中でどのように位置づけてプラスチックごみを減らしていくか、本協議会でも協議をし、より良い施策、方向となるようにしていきたい。
- ・現在、保津川下り乗船場の上流部で環境政策の情報発信を行う拠点施設を計画いただいている。こういった施設を作り、色んな方が集まり、英知を集約する施設、場となるようにしていきたい。

◇議 事

議題1「令和3年度を取組について」（事務局説明）

議題2「令和4年度を取組について」（事務局説明）

（亀岡地区中部自治会）

- ・環境拠点施設について、新聞などで情報収集できていなかった。情報発信をしっかりと行って欲しい。
- ・二酸化炭素の排出について、「カーボンゼロ」のイメージが湧かない。「カーボンゼロ」の道筋、イメージが持てるように説明して欲しい。

（事務局）

- ・情報発信については、周知を図れるようにしていきたい。
- ・脱炭素の関係ですが、「排出量実質ゼロ」という言い方をしている。二酸化炭素の排出量と吸収量がイコールであれば排出されるものがゼロというイメージ。例えば、化石燃料を使うと二酸化炭素の排出につながるが、植物性・バイオマス由来のものは、最終的に燃やすことになっても、成長過程で二酸化炭素を吸収していることから、二酸化炭素の排出量は実質ゼロという考え方になる。

（亀岡地区中部自治会）

- ・化石燃料は、マイナス。自然由来であれば、二酸化炭素をリサイクルしているからゼロ。自然（再生可能）エネルギーであれば、もちろんプラス。そういうイメージを皆さんで共有できるようにして欲しい。
- ・森林を増やすことも、二酸化炭素の吸収量を増やすことにもつながるので、そういったことも市民へ周知して欲しい。

（NPO法人プロジェクト保津川）

- ・二酸化炭素の排出源として、農業分野も大きい。
例えば、水田からは温室効果ガスであるメタンガスが発生する。そこで、カーボンニュートラルにしようとする、なぜ水田でメタンガスが発生するのかということになる。最終的には、石油由来の化成肥料がその原因になっている。その代わりとして、下水汚泥や食品のゴミ、家庭から出る生ごみから作る堆肥などを使うなど、取組は進んでいる。
生ごみを燃やしているのは、日本だけ。生ごみ処理の在り方を市民の皆さんと考えていければと思う。また、協議会出席企業や協定締結の企業の知恵、力をお借りして、今後対策を考えていければと思う。
- ・この3月に、豊岡市で「プラスチックごみ削減対策実行計画」が策定された。内容は、亀岡市の取組以上のものも含まれている。レジ袋だけでなく、その他の使い捨てプラスチックごみについても、規制していく方向が示されている。亀岡市でも、一緒になって取組を今後進めていければいいと思う。

議題3 「優良表彰選考部会の設置について」（事務局説明）

その他

（イオンリテール株式会社 イオン亀岡店）

- ・生ごみをたい肥化するリサイクラーの補助を亀岡市で行っているかと思うが、昨年の利用件数・金額は？また、予算規模は？

（事務局）

- ・本市では、生ごみ処理容器（コンポスト）・生ごみ処理機への購入補助を行っています。補助率としましては、1/2（上限20,000円）で、毎年度各20台程度の予算を確保しております。昨年度は、予算額をほぼ使い切っております。

（イオンリテール株式会社 イオン亀岡店）

- ・炭酸水を箱買いされる消費者が多くある。
脱ペットボトルに向けて、炭酸水メーカーへの購入補助の進捗状況は？
昨年、桂川市長に面会させていただいた際にも、同様の提案をした。

(事務局)

- ・現時点では、補助の検討は行っておりません。

(NPO法人プロジェクト保津川)

- ・我が家も炭酸水メーカーを持っている。各ボトルメーカーも炭酸水対応のステンレスボトルを製造されている。

補助金もそうだが、家庭で炭酸水を作れる炭酸水メーカーの紹介を各小売店さんで行ったり、その普及・広報を一緒に行っていければと思う。

フランスでは、公共の給水機で炭酸水を給水できる場所もあるので、そういう情報を広めることも含め、税金を使ってでも炭酸水メーカーと広める気運を作っていけたらとも思う。

(イオンリテール株式会社 イオン亀岡店)

- ・当店は、小売り業なので環境へ配慮した各種商品の展示、紹介を今後行いと考えているので、その際は協力して行えればと考えている。

(京都信用金庫 東亀岡支店)

- ・環境拠点施設に関する情報発信や環境配慮型の商品の紹介など、亀岡市の公式LINEを使ってもいいのではないかと思う。

子育て世代の従業員などは、情報を集めるのによく利用している。

◇副会長あいさつ

- ・コロナ渦の中、対面の会議に多く方に参加をいただいたことに感謝申し上げます。
- ・冒頭、会長の挨拶にもあったが、亀岡市内におけるプラスチックごみ環境が大きく変わったとのお話があった。亀岡商工会議所としては、「亀岡市プラスチック製レジ袋提供禁止に関する条例」の施行に漕ぎ着けるまで、様々な経過があったが、本協議会における議論を通じて亀岡のプラスチックごみ環境が大きく変化したことは成果だと考えている。
- ・プラスチックごみを取り巻く環境は、生ごみの問題やペットボトル等、新たなフェーズに移っていく。協議会に課せられる使命も出てくると考えられるので、今後も協議会の皆さんで協議、提案を行っていけたらと思う。

◇閉 会